

181 ゲツセマネ途上での説教(2) イエスはまことのぶどうの木

ヨハネによる福音書 15 : 11~17



11 **これらのこと** (→ぶどうの木と枝のたとえ) **を話したの** (→理由) **は、わたしの喜びがあなたがたの内にあり、あなたがたの喜びが満たされるためである。**

→イエスの喜びは、父なる神への従順によって生まれ、弟子たちは、イエスへの従順 (=イエスを喜ばせること) によって、イエスの愛に留まることで、その喜びに満たされる。

→ヨハネによる福音書 10 : 10b

わたしが来たのは、羊 (→私たち) が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。

→ヘブライ人への手紙 12 : 2b

このイエスは、御自身の前にある喜びを捨て、恥をもいとわないで十字架の死を耐え忍び、神の玉座の右にお座りになったのです。→ファイル No.147 受難と復活の予告 参照

12 **わたしがあなたがたを愛したように、①互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。**

→ヨハネによる福音書 13 : 34~35

あなたがたに新しい掟を与える。**②互いに愛し合いなさい** (→ヨハネだけに見られる表現**①**~**④** (17 節) =愛し続けなさい)。**わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも③互いに愛し合いなさい。**互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。

13 **友のために自分の命を捨てる** (ことができるくらいの勇気がある) **こと、これ以上に大きな愛はない。**

→(リビング・バイブル) 愛は何によって測ることができるでしょう。友のためにいのちを投げ出すこと、これより大きな愛はありません。

→ユダヤ教では、隣人の命より自分の命を大切と考えるが、ギリシア、ローマ世界では、隣人、友のために死ぬことは英雄とされる。ユダヤ人であるイエスの自己犠牲の愛 (聖霊の助けによって、私たちにも可能となる→①時間を割いて苦しんでいる人の相談に乗ること、②金銭等、具体的な援助、③祈りや励ましの言葉等) は、ユダヤ教徒とは全く異なるものである。ただし、イエスは友のために死ぬことを要求しているのではない。

【参考】塩狩峠 三浦綾子著

1909年(明治42年)2月28日に発生した鉄道事故で殉職した実在の人物・長野政雄を主人公に、愛と信仰を貫き多数の乗客の命を救うため自らを犠牲にした若き鉄道職員の生涯を描いている。

塩狩峠(標高263m)は、北海道上川郡比布町(旧石狩国)と上川郡和寒町(旧天塩国)の境にある。名寄盆地と上川盆地を結ぶ交通路として開削され、北海道内の旧国名である天塩国の「塩」と、石狩国の「狩」をとって「塩狩峠」と命名された。

14 **わたしの命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である。**

15 **もはや、わたしはあなたがたを僕とは呼ばない。僕は** (主人から言われたことをただ忠実に行うだけで) **主人が何をしているか** (関係なく) **知らないからである。わたしは** (これから) **あなたがたを友と呼ぶ。** (なぜなら、) **父から聞いたことをすべてあなたがたに知らせたからである。**

→僕: 新約聖書で「僕」と訳される語は、決まった仕事をするために雇われた人のことではなく、他人に所有され管理される奴隷のことである。奴隷や召し使いは主人と対等とはされず、主人も友人相手のように話しかけることはなかった。

16 **あなたがたがわたしを選んだ** (→ユダヤ教の習慣：弟子が師[ラビ]を選ぶ) **のではない。**

わたしがあなたがたを選んだ。

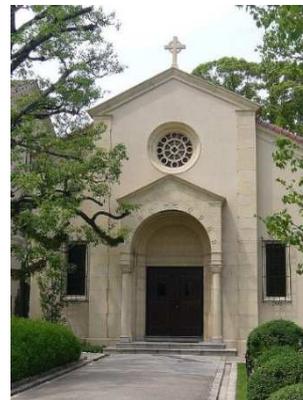
あなたがたが (世界に) **出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、また、わたしの名によって** (自分に与えられた使命を) **父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたがたを任命したのである。**

→選んだ：任命した：ティセイミ (ギリシア語)。

(NIV) You did not choose me, but I chose (choose の過去形) you and appointed you so that you might go and bear fruit—fruit that will last—and so that whatever you ask in my name the Father will give you.

(NKJV) You did not choose Me, but I chose you and appointed you that you should go and bear fruit, and that your fruit should remain, that whatever you ask the Father in My name He may give you.

→イエスが弟子に望む「実」は、神と他者への愛に基づくものである。



関西学院 ランバス記念礼拝堂 (収容 120 名) / 1959 (昭和 34) 年
兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1
関西学院におけるヴォーリス建築事務所の最後の設計

17④ **互いに愛し合いなさい。これがわたしの命令である。**」

【参考】第一と第二の掟

▶マタイによる福音書 22 : 37~39

イエスは言われた。『**心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。**』これが最も重要な第一の掟である。

第二も、これと同じように重要である。『**隣人を自分のように愛しなさい。**』

▶マルコによる福音書 12 : 29~31

イエスはお答えになった。「第一の掟は、これである。『**イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。**』

第二の掟は、これである。『**隣人を自分のように愛しなさい。**』この二つにまさる掟はほかにない。」

▶ルカによる福音書 10 : 27

彼は答えた。『**心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい**』とあります。』

【参考】ヴォーリス, W. M. Vories, William Merrel 1880.10.28~1964.5.7 (出典：関西学院大学)

理事、建築家。アメリカ・カンザス州に生まれる。コロラド・カレッジ卒。1902年にカナダ・トロントでの海外学生伝道奉仕団総会に出席して海外宣教への決意を固め、YMCA の紹介により 1905 年 2 月に来日、近江八幡商業高校で教鞭を取った。しかしその熱心なキリスト教宣教活動のため解職、自給宣教師としての働きを開始した。その基盤として近江ミッション (後の近江兄弟社) を設立、メンソレータムなどの医薬品の製造販売、近江兄弟社学園を通じての教育事業など多方面の事業を展開した。1908 年、ヴォーリスは建築設計監督事務所を開き、いわゆるアマチュア建築家としての活動をはじめている。その 2 年後、アメリカ人建築技師 L. G. チェーピンを加えてヴォーリス合名会社 (後の W. M. ヴォーリス建築事務所) を設立した。関西学院との関わりは、来日直後に原田の森のキャンパスで開かれた学生 YMCA の会合が最初であったが、1910 年、17 年の建築基本計画に従って神学館、普通学部、文学部、高等商業学部、中央講堂、さらにハミル館など主要な校舎を設計、建築した。上ヶ原移転に際しては、甲山山頂と時計台、中央芝生、正門、そしてキャンパス前に広がる芝川農園を抜ける道路を結ぶ直線をはさんでほぼ対称的に配置されるキャンパスの全体設計、またスパニッシュ・ミッション・スタイルを基調とする各校舎のデザインなど、現在の関西学院の景観の基本を定めた。

1941 年に日本に帰化し柳米来留 (ひとつやなぎ-めれる) と改名。同志社、神戸女学院などの学校建築、大阪教会、旧神戸ユニオン教会などの教会建築、大阪大丸心齋橋店などの商業建築、さらに個人の住宅なども手がけている。著書に『吾家の設計』(1923)、『吾家の設備』(1924)、『失敗者の自叙伝』(1960) 等。

